愛國婦人會機關

# 愛國婦人

毎月五日二十日發行

（定價）一枚參錢　一ヶ月分六錢　三ヶ月分拾八錢　半年分參拾六錢　壹ヶ年分七拾貳錢　全國無遞送料　郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麴町區下二番町三十七番地　大日本女學會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

## 社說

### ◎迷信を去れ（つゞき）

迷信には樣々の種類があッて、我國にも古來、祈禱・占・禁厭・夢占・犬神・飯綱遣即ち狐使といふやうに、數々ある。ベルッ博士が此の狐憑とか犬神憑とかいふ事に就いて、委しく說明された講演が曾て官報に出た事がある。其中に斯ういふ事があッたと記憶して居る。是等のものは、固より神經病であッて、婦人や少年輩に多い。狐憑とか犬神とかいふものがあると、平生信じて居るか、又は周圍の人々が、是れは狐の憑いたのではあるまいかなどいふ話を聞いて、其病人が此種の神經病になるものであッて、魯鈍蒙昧な者に多い。理解力があッて、狐憑とか犬神憑とかいふ事の有る道理がないと、心に定めて居る者は決して此病に罹らない。同種類の病でありながら、印度では鬼が憑くと信じて居り、日本では狐や犬が憑くと思ッて居る。印度人に向ッて、狐が憑くのであると云ッたら笑ふてあらうし、日本人に鬼が憑くのであると云ッたら亦笑ふてあらふ。と云ふ意味の說があッた。猶其病理に就いても、委しく述べてあッたが、事長ければ茲には省く。兎に角、道理に由て其心を支配せしめない人が、斯樣な迷ひに陷ッて自ら苦むといふ事は明白である。鎌倉大草紙に、足利成氏と兩上杉と戰爭の時、或日、今日は惡日に當るといふので、其日は双方戰爭を休んだと書いてある。双方の大將が迷信家であッたればこそ、斯樣な呑氣な戰爭も出來たのであらうが、今日の戰爭に於ては思ひもよらぬ事であらう。又安齋隨筆に、堅魚を食べて醉はぬ禁厭を知ッて居ると云ふ者があるので、其法を問うて見ると新鮮な堅魚を選んで食べれば大丈夫だと答へた。禁厭などゝいふものは、皆此類のものであると書いてあるが、流石に安齋は物識りて、昔の人にも拘らず、卓見家である。又醒睡笑といふ書物に、或る愚鈍な男があッて、掌に虎といふ字を書いて居れば狂犬に嚙まれないといふ禁厭を聞いて、狂犬の前へ虎の字を書いた掌を出して見せた處が、犬は些も恐れないで忽ち嚙んだ、其男は禁厭のきかぬを不思議に思ひ、物識りの和尙に問ふと、和尙は笑ひながら、其れは無筆の犬であッたのだらうと答へたとある。又此程の九連城攻擊の時、一兵士は肋に敵彈が中り、其丸が丁度、懷中して居ッた守札の處で、守札の紙がちぎれて肋骨にからみ着いた爲に、治療が困難で、遂に助からなかッたといふ事である。其守札は、兵士自ら受けたのか、人傳に貰ッたのか知らないが、若しも迷信家の婆さんなどが贈ッたものであッたならば、婆さんは大に氣の毒を感ずる事であらう。

迷信は野蠻未開時代の遺物であッて、實に思慮分別もない事ばかりで、道理にしたがッて行動する所の文明の國民たるものは之を避くる事に大に心せねばならぬのである。世間では、學理と實地とは違ふものである、學者は實地に用を爲さぬ事が多いと、普通にいうて居る樣であるが、此判斷は誤謬である。實地と違ふ學問は、未だ本當の學問でない、實地に用を爲さぬ學者は、未だ本當の學者でない。眞正の學問といふものは、實地に當ッて幾度もためした上で、愈何處へもッていッても、間違なく當箝るといふものでなくてはならぬ。

今日の時局に當り我國は正々堂々と、道理を踏んで露國が暴戾倨傲を膺懲し、彼れが年來、人の國を橫奪して苦しめつゝある邦土の民衆を救うて、絢爛たる文明の光に浴せしめんとするのである。されば我國民たるものは、何處までも正道を確守して、迷の路に踏入らぬ覺悟がなくてはならぬ。國民が正しき道を踏まんとを心がけさへすれば、自然に天の助けを得るのである。やんごとなき御方々の御師範役である、坂正臣氏が、天佑といふとをよめる歌に

いのらても道にかなへるみいくさは
あまつ御神やまもりますらん

二三百年前の和蘭の武人（ハルス筆）同國ハーレム市廳所藏

### ◎軍人遺族救助の理由及風俗改良論

伯爵　板垣退助

本篇は記者の訪問に對し伯爵のものせられたる談話の要領なり。文字の責は記者にあり。

○遺族救助の義務　吾輩は維新の始め人民參政の權利を主張した。同時に又全國皆兵の主義に基いて徵兵の議を建てた。これは權利あれば必ず義務ありと云ふ道理である。言葉を替へて言へば兵役は即ち血稅であッて、國民として幸福安寧を享くる以上は、之が憂へも共にせねばならぬからである。兵役は國民の義務である以上は、國家より之に向ッて報酬を與ふ可きの限りでない、恰も租稅を納むるものに、國家は何者をも與へぬと同一である。乍併一方より觀察するに、實際此血稅を納めつゝあるものは國民中の一部分に過ぎない。彼等一部分の人は即ち國民一同に代ッて兵役の義務に就いて居るのであるから、若しも是れ等のもの、遺族が生活に困難を訴ふる場合には、之を救ふは即ち國民の義務であると思ふ。愛國婦人會の規則の中には、國家が遺族を救ふ力には限りがあッて、救ひを受くる人には限りがないから、慈善の途に訴へてこれを救はんとすると云ふのであるが、吾輩の考へはさうでない。國家はこれ等の人を救ふ義務がないから、其代り國民の內で血稅の義務を免れたるもの、殊に婦人が當然之を救ふの義務がある。慈善と云へば勸誘する、頭を下げて御這入りなさいと賴むのであるが、吾輩は婦人は當然此會に這入ねばならぬ義務があると云ふ風に、規則も改正したならば、一層主義が貫徹する事かと思ふ。

○風俗の改良　社會の發達には總ての組織が相並んで進まねばならぬもので、一方のみ發達して一方に欠けた處があッてはならぬ。戰爭後國民の覺悟は如何であるか　世界の舞臺に上ッた我國は、列國環視の中に活動せねばならぬ從ッて歐洲各國との交際も益々親密を加へ、戰後には世界博覽會も開かれるであらう、博覽會が開かれぬ迄も、多くの歐洲人は日本に來遊するに違ひない、其時に當ッて日本の風俗はどうであるか、恥づべき事共が多い。之を矯正するのは實に婦人の力である。

○婦人の風俗上に及ぼす感化　凡そ一國の風俗は婦人に依ッて支配せらるゝものである。婦人が當世ハイカラ流の男を好むと、男子がハイカラ流になる。婦人が軍人を好めば軍人の志願者が多いと云ふ譯である。近來婦人が社會事業に盡さるゝについては、同時に社會上の制裁力を作らねばならぬ。法律上では免かれる事柄でも、社會上の制裁は免かれぬやうにせねばならぬ。不品行なる婦人を社會の裏面より救ひ出すと共に、不行跡なる男子に向ッて嚴格なる矯正の方法を採る事に勉めねばならぬ。

電話番町一千三百三十番

◎本號附錄には富山縣支部長李家貴實子同縣幹事長信子熊本縣支部幹事山本こと子の肖像を添ふ



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## ◎日本人の海事思想

相談役 海軍少佐子爵 小笠原長生

左は此程帝國海事協會談話會に於て子爵がものせられし演説の要領なり

◎錦繪の相違　日本の國民は海軍思想が甚不十分てある繪双紙屋や繪畫展覽會の繪を觀るに殆ど本統の事を書いたものは無い此間油繪を見ましたが其中最も烈しいのは魚形水雷の中に一人水兵が乘つて敵に向ッて走ッて行く所の繪が畫いてあッた其外總て海戰の繪が大概碇泊旗を樹てゝ居る是れは御承知の通り、軍艦の艦首に樹てるのは碇泊の時に限ッて樹てる旗であるに、總ての繪が皆艦首に樹てゝある又戰鬪準備をして居る艦であるから艦の周りの欄干杯は取り外すのが當り前であるに皆それが取外して無い之を見ても海事思想の幼稚な事が知れる

◎露艦が來たと騷く　海事思想が幼稚であると云ふ丈けに止まらない時に依ると非常な間違にならぬとも云へぬ先頃露國の艦隊が函館附近に現れた事がある其時報知して來る電報の中には商船などを露艦と誤認したものも澤山ある軍艦と商船との區別を判じかねた爲かと思はれる偶々今度の軍は此方が攻勢を執ッて居るから宜しいがそれてさへも一度露艦が現はれたと云ふと到る處の沿岸盡く騷ぐのも當然であるが軍艦と商船と位は誰れにても區別が出來るやうにしたいものである

◎海戰と歷史　海戰の話しを聞くに付ても國民は一層の注意を拂ッて貰ひたい敵の艦隊を破ッた其結果はどうかと云ふ事である詰り日本のやうな國柄ではどうしても敵艦を破ッて然る後でなれば總ての事に向ッて活動が出來ない何時の軍でもさうである文祿の役と廿七八年の役と今度の役と比較して見ると非常に歷史的の趣味を感ずると思ふ

◎文祿の役　文祿の役には朝鮮の方に李舜臣と云ふ名將が現はれ龜甲船と云ふものを發明し其結果日本の水軍が不利であッたので朝鮮の南端を周ッて西の方には一歩も出ることが出來なかッた爲め空しく七年の間兵を海外に勞らして遂に得る所が無ッたそれが二十七八年の戰爭には黃海の戰ひて勝ち旅順威海衞を落して遂に渤海に制海權を得た今度も矢張り同じ事で此方が終始攻勢を執り敵の艦隊を旅順に壓伏したから目下のやうな活動を爲し得るやうになッたのである

◎開いた倉に寶を入れよ　如斯一方には歷史的趣味を以て研究し同時に一方には海事思想を養成する事につとめねばならぬ海軍の將校兵士が骨を折ッて得た所の海上權を戰後迄も充分其效力を保ッやうに願ひたい海軍は詰り倉庫である幾ら倉があッても其中に寶の無い倉では効力がない海軍思想から生み出した寶を此倉に詰め込まれん事を國民に望むのである

◎英國の婦人　私が淺間に乘ッて英吉利の戴冠式に列した時に小蒸汽船に乘ッて見物人が澤山來たどんなものが乘ッて居るかと云ふに多くは婦人てあッた其婦人も決して上流社會の婦人許りでない寧ろ女工や下婢のやうなものが多い是れ等ものが高い賃金を出して大切にして置く着物を被て半日の暇を貰ッて船の周りを歩いて居る日本婦人が芝居へ往くやうな娛みの考を以て歩いて居るそれが朝から晚まで絕えなかッた之によるも海軍思想の盛んな事が知れる

◎外國新聞の賞贊　次に戴冠式が濟んだ後に愛蘭士の方に往きコークと云ふ港に這入ッた其港は非常に這入り惡い港で英吉利の少さな船が澤山居る中を潛ッて殆ど擦れ〳〵になつて出入した事がある所が其翌日の新聞に日本兵員の擧動を賞し他の船と丸で擦々に通ッて居るにも拘はらず少しも喧噪せず沈着にして他の事は少しも考へないて自分の職務を一生懸命に執ッて居ると云ふ樣子が見えた若し之が少し騷がしい頭を持ッて居るならば叫ぶとか斷廻るとか云ふことをするのであるが皆平氣で銘々一心に其職務を執ッて居ッたと云ふのは感服であると感心した英國當りでは斯樣な處に始終注意して居るのである

## ◎遺族救助に關する統計

伯爵 柳澤保惠

左は記者の訪問に對し伯爵がものせられし談話の要領なり。文字の責は記者にあり。

戰爭以來軍人をして後顧の憂ひなからしむる爲に、家族及遺族の救助と云ふ事が到る處盛に行はるゝ事になッて來たのは、甚だ喜ぶべき次第てあるが、此救助と云ふ事は、全國均一に公平に行はれなくてはならぬ。均一公平と云ふのは、與ふ可き額が等しくと云ふのではなく、被救助者の貧困の程度に應じて、均一に行ふと云ふのである。今日の救護の有樣を見るに、東京市の內のみでも區々てある。或は原籍主義即ち戶籍のある所を基として救助したり、又は現在地主義即ち寄留地を基として救助したりするから、一人で二重に救助を受ける人が出來たり、他の一方では双方共救助を受けない人が出來たりする。又甲の區では多くの額を與へて乙の區では尠く與へる。夫れが爲に甲の區へ乙の區の人が移住すると云ふ有樣である。又或場合には平常の所得よりは多くの所得を受くるやうな奇觀を呈する事がある。現に當邸の門の傍に巡查が住んで居ッたが、それか召集せられ、妻と子が困るであらうと思ふから、月々幾分の補助を與へる事にしたが、後から申出た處によると、警視廳の方から俸給の四分の一とか貰ふ事になッたから、自分の處の補助を合すと、前より所得が多くなるから、幾らか減じて貰ひたいと正直に申出たが、斯樣な例は今日澤山世の中にあるであらうと思ふ。そこで多少手間は取ッても、全國から完全な統計を取ッて其統計から割出さねば正確な調べは出來ぬ。自分が舊領地のみから採ッた統計は(一)氏名(二)身分(三)家族の數(四)平常の職業(五)軍職名(五)生年月(六)町稅の級(七)町稅金其他家族の年齡及其職業一家に於ける働き主は誰なるやをも詳細取調べて救助する積りであるが、如斯全國より詳細な統計を取ッて、其上で平均して被救助者を定め平等に救助せねばならぬ事と思ふ

## ◎婦人と讀書

華族女學校講師 ミス、ウエストン

◉讀書は婦人の義務　讀書をすると云ふ目的は何であるかと云ふに第一には有益なる所の智識を得第二に私共の智力を開發して行く事第三には其得た所の智識開發せられたる智能を以て之を外に向つて光らし又他人に迄も其讀書の利益を擴むると云ふのが讀書の目的であります元來婦人は讀書と云ふものは爲さなくてはならぬ義務のあるものであるか單に只面白いから讀むと云ふ丈の事であるかと云ふに私共は無論婦人の身に取つて爲さなければならぬ義務のあるものと心得ます

◉精神上の敎化　元來家族の關係と云ふものは何れの國に於きましても大切なものでありまして其發達の歷史こそ異つても輕々しくは出來ない恰も結ばれた瘤のやうなもので一度び其中に入れば容易に解つ事は出來ませぬ婦人か始めて母となり妻となつた以上は單に子を生んだとか云ふ肉躰上の働きに止まらず精神上の働きか加はるものであつて即ち敎育の義務と云ふものが起ります

◉家庭の修養　子供が外へ出て往つて善い事を聞いて戾つたと云ふ事は第一間違ひてある外で見る善い事は既に內に在つてちやんと知つて居ると云ふ位でなくてはならぬ人の母たるものは其子供に物質上の空氣を供給すれば宜しいと云ふ譯のものでない精神的の空氣を供給せねばならぬがそれには自己が先其中心となつて之を與なくてはならぬそこで讀書と云ふ精神上の食物を母かよく食べて置てよく消化して小供に與へると云ふ事が必要であります

◉學校以外の敎育　英國に於て私共が育つた時分より今日を見ると知識を得る事がやさしくなつて追々には學校へ行つて習ふ程の事は既に知つて居るやうになるだろうと思ひます詰り家庭で母がいろ〳〵な物を讀んでいろ〳〵な事を知つて居りますから自然小供の腦に染み込みます故に家庭に於ては小供に對し又夫に對する義務として讀書を廢してはなりません

## ◎本會相談役男爵澁澤榮一氏の近詠

ことし春の末つかたよりふたゝび病にかかりてほと〳〵命もあやうきばかり煩ひけるがやう〳〵おこたりさまになりける程六月九日ゆくりなく侍從職よりの御使にていとうるはしき御菓子一折のたまものにそへて

畏き仰ごとによりかづけさせらるゝ旨幹事岩倉朝臣の御書ありこは微臣の煩ひぬるを叡聞に達せしよりの御事なりとぞそも〳〵やむごとなき官にある人々はしらず野にある身のかゝる大御惠を蒙るは誠に例少き事にてこは全く常に實業の發達につきてそゝがせ給ふ深き大御心のやがて微臣の身にもおよばせる御事なるべしとかしこくも又た喜ばしく恭くおもひつづけて

伏屋もるうめきの聲の思ひきや
雲の上まてきこゆべしとは



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## ◎武士の妻　細川忠興夫人

細川藤孝は其子忠興・興元と父子三人で織田信長に從ッて戰功多く其賞として丹後國を賜はッた天正十年の夏明智光秀信長父子を討ッた時光秀は忠興の舅であるからやがて丹後に使者を立てゝ攝津國を忠興に與へるから急ぎ來ッて我軍に力を戮せて呉ろと云ッて來た然るに忠興は大に患ッて返答もせず父と與に髮を切り織田家に對して二心なきとを心に誓ッた又夫人に向ッて「御身の父は大逆を行うた我等父子は織田家の大恩を蒙ッた者であるから逆賊を討ッて其恩を報ぜねばならぬ御身は逆賊の子であるから同居する事は出來ぬ」と云うて三戸野といふ山深い里へ幼兒をつれさせて押込め家來の者をして護衛せしめた此夫人は光秀の第三女で容貌殊に美はしく和歌をよくされた天正七年に細川家に嫁ぎ同じき十年にこの不仕合に遇はれたのであッた、

さて山崎の一戰にて秀吉の爲に大敗して光秀の一族は咸滅び尚支族の者をも殺さんとて捜索して居るといふ風聞かあッて乃て家來の者は夫人に向ひ君には御婦人の御身ではあッても此度の災は御逃れ難いで在りませう寧ろ坐して災に遭ひ給はんよりも疾く御自害遊ばされては如何と忠實に申しました夫人は之に對へて「言はるゝ所一應尤もであるが未だ良人の命を聞かずして自害しては三從の誡めに背くかと思ふ縱孝道に叶ふとも貞節に缺けるは本意ない事である敵に襲はれて免れ得ぬ場合に臨んで自害しても未だ遲くはあるまいと考へる」と申された

夫人は丹後宮津城主の奥方たる身分でありながら親の因果が其身に及んで零落に沈み艱難苦節を守られし事十二年であッたが秀吉は其貞節に深く感じ忠興に說いて再びめでたく細川家に歸られるとになッた

それより七年を經て慶長五年に會津の上杉景勝が軍を起したので家康は江戸から討伐に向はれる乃て忠興は家康を助んと軍を率ゐて東國へ馳上ッた然るに其年の七月大阪に於て石田三成等家康を亡さんとて亂をおこした即ち是れが名高い關原の戰爭で日本中の武將が東西に別れて戰ッた大戰爭である大阪には諸將の邸があッて其妻子の人々が居るから其人々を人質に取ッたら止むを得ず大阪方へ味方する者が多いであらうといふ三成等の考へで先づ以て忠興の留守邸へ使者を立て夫人に登城する樣にと告げた夫人は其意を悟り嫡婦と舅の妹と子女達とをひそかに逃れ出さした三成は度々使者を立て切々促したが埒があかぬので到頭搦め取ッて來いとて軍兵を差向けた夫人は殊勝にも家來共に向はれて縱し三成がはからひて差向けたにもせよ豊臣家の軍兵であるから此方から矢一筋も放してはならぬ上を犯す罪となッてはよくないからと固く戒め置いて一間に入ッて自害された

そこで大坂方の計は案に相違し斯樣に諸將の家族を殺す時は却ッて敵の決心を固めるばかりで得策でなかッたと後悔し其後は人質を取る事を止めてしまッた實に其時大阪に在りし多くの諸將の妻子は一烈婦の節に死した爲に厄難を免れたのであッた

夫人は嫁がれてから四年目に家を出され十二年間淋しき春秋を送り漸く後歸されて七年目に自害されたので夫に連添はれた年月よりは別居の年月が長かッた誠に不幸な人である是れも全く父親が無道なる爲である其不幸の中に能く操行を持し父親が無道の惡名を幾分か打消し得たるは世に稀なる烈婦である

忠興が家康を助けんとて出陣するに臨み一首の歌をものして夫人にしめしたといふ事である

なびくなよわが籬のをみなへし
男山よりかぜはふくとも

忠興は流石に當時天下に双なき歌學者細川幽齋の子息であるから武道一邊の人ではなかッたであらう又天正十一年疫癘大にはやッて死ぬる者が澤山にあッた其時夫人の歌に

いかでかはみもすそかはのながれくむ
ひとにたゝらんえきれいのかみ

此歌を見ても萬事につき覺悟の確乎として居ッた事がうかゞひ知られる（藩翰譜、野史、列祖成蹟）

## ◎英國の篤志婦人リチャードソン夫人

川瀨ドクトル夫人　川瀨フミ子

○隱れたる篤志婦人　我が同盟國の婦人で米國のマギー女史より既に一ケ月程前に日本に來り現に篤志看護婦の業務を執ッて居られましたが此篤志にして着實なる婦人は皆さん誰れも御承知でありませなんだ何故かと申すに其來られる時もこッそりと來られ名を顯す事を非常に嫌はれて居られ云はゞ窃かに着實に業務に從事して居られたからであります此床しき婦人は即ちリチャードソン夫人であります

○從軍の經驗　夫人の御里は英國でも有名な金滿家でありまして夫人が陸軍大佐リチャードソン氏と結婚された時には少なからぬ持參金を持ッて結婚され三人の子息も設けられたさうでありますが夫が南阿戰爭の時に從軍されました時に夫人は健氣にも夫と共に戰地に向ひ何か働きをしたいと云ふ考を起され夫れには看護婦となるのが捷徑であると云ふので其時看護婦數十名を引連れ從軍せられ種々なる經驗を得られたさうであります

○來朝の理由　日本に來ッて博愛なる慈善事業に身を投ぜらるゝ動機は夫の方が半年程前に亡くなられまして其悲哀なる情は如何なる業務を執るも之を打消す事が出來ません其際に當り日露戰爭が始まり我國に對する同情の念禁じ難く兼て看護婦となッて從軍した經驗もありますから單身日本に來ッて軍人の看護に從事し一は人道のため一は仕事を勵みて自己の悲みを消す爲に林公使の添書を得て英國婦人の魁となッて日本に來られた譯だそうであります

○謙讓なる婦人　夫人は前に申す通り非常な有福な方でありまして英國出發の際にも我會と同一の目的なる林公使夫人の主唱にかゝる婦人會に對し少なからぬ金を寄附せられ又日本に來られても赤十字社始め色々なる慈善事業に寄附せられ滯在の費用は總て自辨して居られます且つ平生申さるゝには私が何か仕事をした上て社會より歡迎を受けるなれば素より喜びて之を受けますが何事も出來ぬ先きに新聞などで御吹聽に逢ふのは實に迷惑に存じますと云うて「愛國婦人」に肖像を揭げたいからと申して私の貰ふた寫眞を御貸し申す事さへ拒まれました

○將來の意向　一ケ年間滯在して看護事業に從事せらるゝ豫定で每日此節は篤志看護婦人會に出て熱心に執務して居られまして寸時も看護事業の事は胸を放れず遇ふ人每に其話し斗りして居られます夏の間だけ暫く休暇を得て日光に遊び夫れより廣島の豫備病院に向はれる筈ださうであります

## ◎戰爭逸話

○裸體の儘にて戰爭を繼續す

（近衛步兵上等兵大橋啓吉）

九連城の戰に氏は靉河の淺瀨を探るの任務を帶び眞裸體になり銃を戰友に託して短劍を携へたるまゝ水流中に躍入り、彈雨を冒して向ふ岸に達せしにより、全隊之に次て徒涉せり。而も軍服を着る隙なく、裸體のまゝ先頭に立ちて敵中に突入し、敵の狙擊兵を見付け出し、其銃を奪ひ一擊の下に之を撲殺せり。

○衣を改むれば六個の彈丸を受く

（第三聯隊第十二中隊長大尉蠣坂七五郎）

南山の攻擊の際氏は敵前に漸く達せし時、腕に一丸を受け胸部に又一丸を受けしも屈せず、更に勇氣を皷舞し劍を杖として遂に敵壘に先登せり後にて身邊を改めしに、着物に一ケ所、雜嚢に一ケ所、望遠鏡サックに一ケ所、水筒に一ケ所、身體に二ケ所都合六ケ所に彈丸を受け居られしと云ふ。

○全隊皆決死隊を志願す

曩に海軍閉塞隊を募るや七十七人の決死隊を得たるが、陸軍にても南山攻擊の際、地雷火を踏み除く爲に決死の士を募り、志願者は銃を擧げよと命ぜし處、二個中隊全部其募りに應ぜしを以て、遂に已を得ず各隊より軍曹小林貫吉外六名を選拔したりと云ふ。

○一聯隊の軍旗三度旗手を代ふ

南山の攻擊に際し步兵第一聯隊の軍旗は先頭に押し立てゝ進みしが、敵の銃丸霰の如くに飛び來り、三度旗手を代へ、旗竿は三分の一ばかり折れ、旗はちぎれ、僅に數條の絲を殘すのみとなりしも、此名譽ある聯隊旗は十三時間の劇戰の後遂に南山の壁頭第一に建てられたり。

○足は大丈也

南山の戰に第一聯隊の某一等卒は敵に向つて先進する際、敵彈に足部を貫通せられしかば、軍醫は應急手當の上、本國へ送り返さんとせし處、某は足の痛み烈しきを忍びて、故らに其の足を上下して、此通り足は大丈夫ですとて遂に命に從はず。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## ◎郡長及町村長慰勞會の狀況

評議員　子爵夫人　岡部坻子

先日居村の出征者の家族を慰問いたした節に、郡長や町村長等は公務の多忙なるにも拘らず、慰問上に多く便宜を與へてくれましたから、此程此等關係者廿五六名を自邸に招き慰勞の會を催しましたが、自邸では何等の慰安の方法も出來ませんから、一同に晝食を供した上、日本女子大學校を參觀せしむる事に致しました。處が成瀨校長も喜んで引受けてくれまして、學生の運動遊技をして見せられ、殊に自轉車隊の回轉運動を見た時は、一同其優美なる仕業に感服致し、私共は自轉車が斯く迄高尙優美なものとは思うて居りませんなんだが、日本服を着て婦人が列を爲し、巧に運動する處を見まして、將來貴婦人が自轉車に乘つて市中を徘徊しても、少しも見劣りのせない高尙優美なもので、婦人の乘馬よりは寧ろ穩かにして、美的趣味に富んで居る事を自覺しました。夫から音樂堂で生徒の唱歌朗吟音樂の演奏等あり、二階で生徒自製の西洋菓子の饗應を受けました、校長の厚意に對しては、私始め一同大に滿足いたしました。

次に細川侯爵邸の御庭及び御住居等を侯爵に願つて拜見する事に致しましたから、再び一同を引連れて參りました。同邸は御承知の通り、舊幕の頃數百年の昔より細川家の下屋敷となつてゐたので、門口には老松が二本、龍の蹯まるやうに、立つて居り、庭園の樹木は鬱蒼として山間幽邃の風致に富み、東京市街に接近したる土地に於て斯る風雅な土地はあるまいと思ふ程で恰も深山に入るが如き心地が致し、池には蓴菜の葉が浮んで古色掬すべき所があります。一同此美しき庭園にて三三五々相語り合ひ、殊に同邸より鄭重なる茶菓の饗應を受け、一同非常に愉快さうに見受けました。

夕暮頃一同同邸を辭し、再び自邸に戻り、懇談に時を移し、解散致しました。平常郡長や村長當りは多忙なものでありまして、社會が之に酬ゆるに少しの慰安の法がないのは、實に氣の毒に思ふ處でありますが、十分には參りませなんたが、斯る催しをして聊かながら一日の淸遊を與へる事につとめました。農事多忙の折柄一同の來邸せられたのは、私の尤も滿足する處であります、

終りに御話し致しますが、長田豐島郡長始め廿六名の町村長よりして、私が軍人の家族を慰問したにつき、鄭重なる謝狀に美しき花瓶を添へ贈與されましたのは、甚だ氣の毒に思ふ處で、又大に謝する次第であります。

## 家　政

### 家政法規　五（裁縫欵）

○絲止所

△男物衣服の絲止所は十八箇所とす

左右の袖口二、袖形二、左右の袖附二、左右の衿先二、左右の衽先二、三つ衿一、左右の裾先二、左右の衽二、左右の脇縫二、脊縫一、

△女物衣服の絲止所は二十四箇所とす

右男物絲止所十八箇所の外、更に　身の八口に左右二、袖附に左右前後四、

△羽織の絲止所は十六箇所とす

左右の袖口二、左右の袖附二、袖形二、左右の衿先二、紐付二、三つ衿一、左右の襠に前後二つ宛四、脊縫一、

○衣服寸法の取方順序

丈、裄、衿肩、袖丈、袖口明、身幅、襟丈、衿幅、衿下、褪、の順序なり但し女物、子供物の時は更に袖附と袖幅とを取るべし

△袴の寸法は紐下、前幅、相引、腰幅、襠の高さ、襞幅、蹴廻の順序に取るべし

○衣服の解方順序

△襦袢は半衿、袖、裾掛、馬乘、脇縫、脊縫の順序なり

△單衣は衿、袖口、裾口、褄下、衽、脇縫、袖附、脊縫、の順序なり

△綿入は衿の裄目、裏表の衿の綴目、衿先、袖口、八口、身の八口、褄下、裾口を解きて裏表を別々にし、衿を取り、衽、兩脇、袖附、袖、脊縫に及ふ

△袴は後紐、腰紙、前紐の附、裾口の裄目、相引、笹、裂、脇布、奥布、前襠、後襠の順序なり

○下着詰方寸法　二枚重ねる衣服を仕立るに上着に對して下着を詰める寸法左の如し

△女服の下着は袖附一分、袖丈三分、袖幅一分、身の丈一分、後幅一分、前幅二分、衽幅一分、衿肩一分、衿丈三分、（即ち左右にて六分）裄一分なり

△男服の下着は袖丈三分袖附三分、袖幅一分、身の丈一分、後幅一分、前幅二分、衿肩一分、衿丈左右三分つゝなり

△廣袖の下着は袖丈を袖口の方にて四分袖附の方にて三分詰め（即ち袖下を一分斜に縫ふなり）袖附一分、身の丈一分、後幅一分、前幅二分、衽幅一分、衿肩一分、衿丈左右三分づゝ詰むるなり

三枚以上重ねる時も右に倣ひて詰むべし但し下着の地質特に柔にしてダレル物ならば身の丈を二三分も詰むるともあるなり

○羽織裏積り方公式　袖丈を八倍したると身の丈を十倍したると總縫代とを加へ是れより表用布を減じて裏用布を得るなり

袖丈×8＋身丈×10＋總縫代－表用布＝裏用布

例へば袖丈出來上り一尺四寸三分身の丈同二尺五寸五分總縫代二尺五寸（但し袖の縫代五分づゝ四寸、三つ衿にて裏表五分づゝ一寸、胴つぎ四寸、前下り六寸、衿肩廻と衿下と衿下と衿先とにて一尺、合計二尺五寸なり）表用布二丈八尺と假定する時は左の如し

14.3×8＝114.4（ソデタケ）　25.5×10＝255.（ミノタケ）　11.4＋255.＋25.＝394.4（ヌヒシロ）

394.4−280.＝114.4（オモテ　ウラ）

中幅物裏地は袖丈の八倍と身の丈の八倍と縫代一尺五寸を加へ此中より表用布を減じたるを裏用布とす

○袴の寸法

△男袴の紐下の丈は着丈にコムマ六を乘じたるものとす（着丈三尺七寸ならば、六をかけて二尺二寸二分となる即ち紐下なり）

襠の高さは紐下の三分の二より一寸減じたるものとす（但し子供の袴は二寸減ずる之を度とす）

相引は紐下の三分の二とす

袴腰の幅は後幅の四分の三に五分加へたるを普通とす而して其高さは其幅の三分の一に一二分加へたるを相當とす又袴腰の上幅は下幅の六分の一を左右にて斜に裁落すなり

後幅は紐下の三分の一に八分を加ふ（但子供物は三分の一にてよし）

附菱の幅は袴腰幅の三分の一にて其高さは袴腰高さの三分の一に一二分加へたるものとす

一の襞は後幅の五分の三とす

中襞は後幅の五分の二を普通とし或は三四分減ずることもあり

二の襞は後幅の五分の一より二三分廣くす

よせ襞は裾口にて後幅の五分の一、上にて十分の一なり

笹襞は一の襞の四分の一なり

紐幅は並幅五つ切りにて其長さは前紐九尺内外後紐一尺八寸とす子供物は紐幅裁切り一寸五分前紐丈五尺以上後紐丈一尺五寸以上とす

△女袴の紐下の丈は着丈にコンマ七を乘じて定む相引の高さは紐下の三分の二に二三寸加へたるものとす

紐幅は前紐裁切二寸後は其倍とす（長さは後四尺八寸以上前九尺内外）

### ◎夏物西洋吳服類價格表（麹町區八木屋號調）

| 品目 | 摘用 | 巾　鯨尺 |
|---|---|---|
| 一色マスリン形付 | 極薄地ニテ色地ニ種々形 | 一尺八寸 |
| 一サテンプリンツ | 木綿朱子地ニ形付 | 一尺八寸 |
| 一絹スカシ織 | 紗地ニ縞モヨウ | 同 |
| 一色パチステー | 色無地切 | 貳尺 |
| 一色無地セツパ | 木綿 | 同 |
| 一ハラン（薄茶色） | 麻糸織 | 同 |
| 一ナインソーク更紗 | 木綿地種々花模樣付 | 貳尺 |
| 一絹縞ガラテヤ | 子供セイラ服用 | 巾　一尺八寸 |
| 一色ヨリ糸織 | 霜降地 | 貳尺 |
| 一色ヨリ糸ラカシ織 | 白ミ玉ミカスリ | 同 |
| 一色縞セツパ | 日本單物用 | 一　八 |
| 一色絹なゝ子織 | | 同 |
| 一絹アルパカ織 | | 貳尺 |
| 一フランネル花模樣付 | 長襦袢用 | 一　八 |
| 一サンズベリン花モヨー絹繪入 | 毛織同上 | 一　八 |
| 一ケンブリツク更紗 | 色合種々 | 巾貳尺 |
| 一フレンチ更紗 | 白地色花形 | 同 |
| 一色リンネル | | 貳　四 |
| 一色スカシリンネル | | 同 |
| 一色スポツケンペリツキ | 白地ニ色ミ玉或は花形 | 一　八 |
| 一白スポツケンペリツキ | 白地ニ白形付 | 同 |
| 一白縞ケンペリツキ | | 一　八 |
| 一白縞マスリン | | 同 |
| 一白ピクトリヤロウン | | 巾　二尺六寸 |
| 一インデヤロウン | | 同 |
| 一インデヤマスリン | | 三尺 |
| 一無地スイスモスリン | | |
| 一白ナインソーク | 下着用 | 貳尺貳寸 |
| 一白マダプラム | 下着用 | 二尺八寸 |
| 一白キヤラコ | | 貳尺四寸 |
| 一紅更紗 | フトン用 | 巾貳尺 |
| 一サテンプリンツ | 大花形フトン用 | 同 |
| 一白レース窓掛 | | 巾四尺 |
| 一色縞入アルパカ | | 貳尺八寸 |
| 一色アルパカ | | 三　三 |
| 一色カミヤ袴地 | | 巾三尺 |

一ヤル價格：五十錢　七拾五錢　八十五錢　壹圓廿錢　三十八錢　三十八錢　四十錢　五十錢　三十五錢　三十八錢　四十貳錢　九十錢　四拾錢　三十八錢　四十五錢　五十貳錢　壹圓　壹圓十錢　七十五錢　三十三錢　四十五錢　九十五錢　五十錢　五十八錢　五十五錢　三十三錢　八十錢　同　三十貳錢　六十五錢　壹圓十五錢　壹圓十錢　壹圓三十錢　三十貳錢　五十錢　三十貳錢　貳十錢　三十貳錢　三十五錢　四十錢　四十錢　七十五錢　壹圓八十錢　貳圓五錢　壹圓四十錢　壹圓六十錢

◉善良なる書籍を選ぶ事を怠る勿れ多數の書籍を涉獵せりとて必しも善良なる智識を得る者に非ず



Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 愛國婦人會記事

◉評議員會　去にし十二日偕行社に於て評議員會を開けり當日は　總裁閑院宮妃殿下も親しく議席に御臨場の上議事を御聞遊ばされ會長は議案に對し一々說明の上贊否を問ひ二三の質問に答へ議決を了せり。

◉閑院宮殿下御送別會　本會に對し深く御關係あらせらるゝ　閑院宮殿下には此度御職務を以て御出征あらせらるゝにつき去にし十二日午後四時より九段偕行社に於て御送別會を開けり當日は總裁閑院宮妃殿下名譽會員伏見若宮妃殿下久邇宮妃殿下梨本宮妃殿下會長岩倉久子理事大山捨松鍋島榮子谷玖滿子評議員山内禎子松平八百子阿部篤子戸田極子戸田時子酒井夏子下田歌子島田信子堤常子三井苞子小林妙子松浦島子南鄕柳子麻生筆子關郁子原口鬩子有島幸子濱尾作子鄕濱子波多野爲子松平保子菊地盛子清浦錬子佐藤靜子山本多穗子九條惠子岡部埏子藤井とく子岩佐德子仁杉歌子大谷かち子德川久子片山龜子澁谷知和子長井とし子佐々木芳子室田せい子伊集院繁子相馬陸子三輪田眞佐子松村琴子豐島文子大藏松子棚橋絢子伊澤千世子寺内瀧子渡邊いね子大寺常子山地謙子中山幸子高木鐐子柳谷千代子山脇房子坂井春子跡見花蹊松平須磨子幹事には薄井てい子中居とく子坪永德衞子稻延ふさ子柿沼はな子野本勢舞子濟水よね子山本たま子建石さく子大橋すま子花岡亭子市原よし子長田いせ子吉田芳子田村彰子尾崎重子保利久子新山雅樂子羽田三緒子松平芳子進道子笠井梅野子松崎悅子岩佐千賀子山上叔子仁尾繁子中島佐久子牧田ます子石崎鶴子前田とみ子後藤さた子藤田いそ子關戸とく子三枝よね子阿部多賀子堀内ゑん子武知菊子秋間ため子下瀬勝千代子小浦義子丸山壽滿子杉浦こま子宮本らく子古屋ます子内海きく子寺井とよ子神崎てる子星野もと子大住りつ子丸木駒子岡田靜子松平雅子相談役には島津公爵谷子爵岡部子爵芳川清浦千家の三男爵堀内少佐松井修德氏等出席の上御送別の宴會を開かれ會長よりは祝辭を奉り次で殿下よりは令旨を賜はり一同六時頃散會したり

岩倉會長の祝辭

本會は始めより　殿下の御誘導に依りて御盛大を爲したり尙爾後も　殿下の御精神の貫徹する機會員一同と共に盡力致すべし今日は會員一同に代り　殿下の御出征を祝し併せて御健康を祈り奉る

令詞

愛國婦人會に於て予が不日征途に上るに付き盛大なる宴會を開かれたるは予の大に滿足する所なり此會は僅かなる年月の間に十三萬の會員を有するに至りしは欣喜の至りに堪す今回の戰爭は前途尙ほ遼遠隨て此會が負ふ所の責任益重し今後一層會長以下に斯會の事業を擴張せられん事を望み併せて愛國婦人會の爲に祝杯を擧げ全國會員一同の健康を祝す

◉本會への寄附　前號に披露せし以後に於て本會への寄附左の如し

| | | |
|---|---|---|
| 金五百圓 | 神戸 | イー、エチ、ハンダー |
| 金百圓 | 同 | チイー、ダブリコーヘリヤ |
| 金五拾圓 | 英國 | サー、アーチボルト、エドセンストン |
| 金五拾圓 | 歸朝中 | 高平清子 |
| 金五拾圓 | 小石川區 | 山川壽滿子 |
| 金五拾圓 | 子爵夫人 | 松平雅子 |
| 金五拾圓 | 本鄕區 | 佐藤進 |
| 金四拾五圓 | 小石川區 | 笠井梅野 |
| 金參拾五圓 | 兵庫 | アンナビショウ外一名 |
| 金參拾五圓 | 兵庫 | 水谷光榮 |
| 金參拾五圓 | 赤坂區 | 豐島文子 |
| 金參拾圓 | 下谷區 | 守田いち子 |
| 金參拾圓 | 芝區 | 内海千代子 |
| 金參拾圓 | 北豐島 | 内山恒子 |
| 金參拾圓 | 赤坂區 | 藤倉きく子 |
| 金參拾圓 | 麹町區 | 林竹子 |
| 金參拾圓 | 英國 | ジェー、エッチ、ハンド |
| 金參拾圓 | 愛知 | 石川錦子 |
| 金參拾圓 | 兵庫 | 有村繁子 |
| 金參拾圓 | 麻布區 | 大久保峯子 |
| 金參拾圓 | 小石川區 | 奥茂子 |
| 金參拾圓 | 神田區 | 梅岡きん子 |
| 金參拾圓 | 廣島 | 阿部カツ子 |
| 金貳拾五圓 | 南足立 | 堀田よね子 |
| 金貳拾五圓 | 小石川區 | 新渡戸万里子 |
| 金貳拾五圓 | 日本橋區 | 稻延ふさ子 |
| 金貳拾五圓 | 本鄕區 | 小管もと子 |
| 金貳拾四圓 | 神戸丸ッ | 神林周道 |
| 金六拾五錢 | 芝區 | 慶應義塾學生有志 |

| | | |
|---|---|---|
| 金貳拾圓八拾九錢 | 英國 | ウイラン商會 |
| 金貳拾壹圓 | 芝區 | 伊東遊喜子 |
| 金貳拾圓 | 日本橋區 | 山本たま子 |
| 金貳拾圓 | 京橋區 | 堀越とよ子 |
| 金貳拾圓 | 兵庫 | 仙田とく子 |
| 金貳拾圓 | 牛込區 | 土井麗子 |

◉高平公使夫人の寄附　別項に記載の如く米國公使高平小五郎氏夫人より左の書面を添へて寄附されたり

今般貴會御設立の美擧を貴會機關新聞にて聞悉し些少乍別封金五拾圓差上申度候間可然御取計被下度相願候　拜具

六月四日　栃木縣日光町歸朝中　高平清子

愛國婦人會御中

◉鍋島子爵夫人の美擧　佐賀縣に於ける愛國婦人會々員の多くは同縣下鹿島地方の者にして目下其會員は約參百名なるが右は全く鍋島子爵（直彬）夫人爲子の勸誘に出でたる者にして先頃子爵幷に同夫人の東京より歸縣さるゝや直に郡内の同會員を自邸に召集せられ今日の時局に際し本會員たる者は宜しく滿腔の熱誠を以て公に奉じ國に盡すべしとて同會の旨趣幷實行の方法に付懇々訓諭せられ會員一同非常に感激し郡内出征軍人幷に其家族に對し本會の旨趣を實施する便宜を謀る爲め子爵夫人の指名に依り特に委員若干名を置かれ委員は各自子爵夫人代理として各其村内軍人の家族を慰問し會員は各々其近傍なる軍人の家族を絕えず慰問しつゝありと云ふ

## ◎各地支部の狀況

◉愛媛縣支部　同支部にては會員勸誘上本部より誘說員派遣方請求し來りしも曩頃靑森地方へ出張せし二女史とも病氣其他の事故により出席し難きにより本部よりの派遣方は見合せられたり

◉愛知縣支部　本月下旬同縣下に演說會を開く筈なるが多分本部より野中氏派遣さるべしと云ふ

◉富山縣支部　去月廿三日午後一時富山市本派本願寺別院に於て擴張演說會を開く聽衆約二千餘名幹事田中信子氏開會の主意を陳べ次に支部長李家賢子氏本會の設立起源より解き起し一場の勸誘演說をものし次に幹事林節子氏約二時間に渡る演說を爲し聽衆に非常の感動を與へ即時四十名程の入會者を得たりと云ふ尙同支部にては市内十五ケ所に演說會を開き盛んに擴張を圖りたるよし

◉石川縣支部　第九師團動員完結の節は村上支部長師團司令部訪問以來引續き郡部の職員陸續出縣し各隊を歷訪し親しく慰問せしよし尙同縣鹿島郡七尾警察署長岡田準吉氏夫人登美子氏は此程逝去せられたるにより其葬儀費用を節し金拾貳圓を本會基本金中へ遺族より寄附せられたり

◉靑森縣支部　野中富樫兩氏について聞く處によれば同縣下は巡回の始めの程は八百名程の會員ありしが歸京の時は千貳百餘名に達したりと。尙又同縣は一般に生活の程度低くして勸誘上尤も困難なる處なるにも拘はらず副支部長及弘崎市依田旅團長夫人等の盡力にて多くの會員を得るに至りしと云ふ

◉岩手縣支部　同縣下の遊說は花卷岩手一の關等にして從來比較的多くの會員ありし地方へ回りし爲に一層多くの會員を誘導する事を得たるが支部長は熱心に盡力せられ一万人には是非達せしむる豫定なるよし

◉福島縣支部　同縣の遊說は若松北方坂下等にして福島支部長は草鞋掛けにて郡部に出張勸誘に力め居られたる如き次第にて非常に入會者も多く殊に會津近傍五郡の郡長は共同して盡力せらるゝにより各地とも盛況なりと云ふ

◉山形縣支部　此支部内は縣下に物產多き爲め富裕なる人々多く殊に縣知事は夫人同伴にて勸誘に勸めらるゝを以て入會者頗る多く歸京の途につかれし頃は六千餘人に增加の見込なりしと云ふ

◉林大佐の葬儀　南山攻擊の際軍艦鳥海に在ッて名譽の戰死を遂げられたる林大佐葬儀の節は本會より大山、谷の兩理事始め柳谷、濱尾、山脇の三評議員及幹事松崎悅子、笠井梅野子氏參列せり

◉本部事務員の渡米　本會創業の際より事務員に任用され各地の遊說に奥村氏に隨行して盡力したる中村管二郞氏は此度修學の爲め本部事務員を辭し米國シヤトルに向け去にし七日渡航の途に着きたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 世論一班

◉**華族と慈善事業**　日露戰爭の開くや華族の家族は急に赤十字社事業其の他の施設を贊成するの必要を悟りたるは甚だ善しと雖も 其の身自ら何等かの作業に參加せざるべからざるものと誤解して貴夫人令孃等馬車を驅り扈從を率ゐて所在作業所に出入して繃帶を卷き綿布を整ふるを學ぶもの甚だ多しと云ふが如き彼等或は珍らしき遊技を得たるを喜ぶべしと雖も彼等の爲す所のもの殆ど實用を爲さゞるを以て、一々之を取り直すの必要あるのみならず他人の作業を妨害すると尠からざるの苦情往々民間に流傳す彼等にして果して慈善心あらしめば須らく其の馬車と衣服とを鬻ぎ其の出入往來の費用を節して之を是等事業に義捐すべきなり何ぞ 勞ら此の無益の勞を取るを要せんや云々

（六月十六日東京日々新聞社說）

◉**軍人援護團體の合同**　我赤十字社の組織は大に整頓して國內に殆十萬人の會員を有し事業の盛大なる外國に向ても誇るに足るものあるに 反し軍人遺族の救助の如きは實際の必要、赤十字社に優るとも劣ることなきのみか 今日に於ては事の急要なるに其設備尙ほ 甚だ不完全なりと云ふに至りては國民たるものは一層の奮發を以て力を盡し少なくとも赤十字社に讓らざる大規模の團體を組織せざる可からず之に就ても現に軍人家族の救助を目的とせる三團體の存在するこそ幸なれ此三者を合同して 其力を集め之を基礎としてます〳〵其事業を擴張するこそ 右の目的を達するに最も便利なる 手段なる可し現在の如く三團體の力を合するも倘ほ遙に赤十字社の事業に及ばざる場合に個々鼎立するが如き不得策の甚だしきものなれば各團體の人々も虛心平氣に事業の前途を考慮して此際斷然三團體の合同を實行せんこと 我輩の切に希望する所なり

（六月五日時事新報社說）

◉**出征軍人の家族**　從來我國の婦人は、其の關係は、單に家庭との關係に過ぎざりしと雖も、其夫、其子、其の兄弟が出征するに方りては、直接に國家と相關聯し、今や彼等は單に家事を掌るのみならず、亦た國家の大事に對して活動しつゝあり。愛國の心、獻身的精神は、獨り我が軍人によりて表彰せられたるのみに止らず、其の家族によりても表彰せられたるは、吾人が感嘆獎美措く能はざる所にてあるなり。出征軍人の行動が勇ましく雄々しき如くに、其の家族の行動も亦た勇ましく雄々し。吾人は、斯の如き家族に夫たり、子たり、兄弟たる我同胞が、戰場に於て勇敢なる武士たり勇卒たるの偶然ならざるを見るなり。吾人は、戰場に於る天晴なる勳功に對して、喝采と感謝の意を拂ふ如くに、出征軍人の家族に對して誠實なる同情を傾倒せんことを切望す。

（五月廿六日國民新聞論說）

◉**出征軍人の家族扶助**　我輩の憂慮する一事あり、何んぞや、軍人家族救助の方法の宜しきに適ふや否やに在り、使用其の法を得ざらんか、良藥も毒藥と變ずるが如く、救濟の方法其の宜しきに適はざれば、慈善事業は終に一大罪惡となるべし、多數の窮民に對して、只眼前の窮乏を救へば足ると信じ、徒らに金錢米穀を與ふるを以て能事とせば、所謂良藥終に毒藥となりて、恐るべき結果を後年に貽すに至るべし、是れ實に輕せにす可らざる社會上の問題なりとす。

慈善事業の結果に依りて生活したる窮民が、救ふべからざる遊惰人となりて、大なる害惡を社會に與へたるは、歐米に於て從來屢々其の適例を見る所にして、凡そ人が其の獨立の氣魄を喪ひたるは即ち其の人が癈人となり、社會の寄生蟲となりたるもの、姑息なる慈善事業は往々人をして其の貴ぶべき自助獨立の精神を喪失せしむ、出征軍人遺族の救助に就て、經世家及び慈善家の第一に考慮を致すべきは即ち此の一事なりとす。

（六月十四日讀賣新聞社說）

◉**軍人家族救護團體統一の急務**　市區町村の救護規約は區々にして或は絕對の本籍主義に依るものあり或は現住主義に則るものあり而して愛國婦人會其他の救護團體に至りても亦各其主持する所あるを以て隨て一方に重複の給與を受くる者あると共に他方には空しく櫛風沐雨戰地に奮戰せる軍人の父母妻子にして一も救助を得るの途なく生活に苦しめるもの亦少しと爲さず此の弊害と缺點とを匡正し以て完全に救助の目的を達せんとせば之に對する統一機關を設け各箇團體の連絡を通じ之が調和を圖るは策の最も得たるものなるべし。

（中央慈善協會設立者等の檄文）

## 戰報

○**柳樹屯の占領**　五月廿七日中村支隊の一部隊は柳樹屯を占領して同地で火砲四門同彈藥、鐵道貨車を鹵獲した。

○**雙陽邊門占領**　同廿八日吉田支隊は雙陽邊門にある敵騎二千を攻擊して 全く之を占領した。

○**旅順口外の偵察**　同卅日我砲艦四隻、驅逐隊二、水雷艇隊二は同三十日午前一時旅順口外に進して敵の砲火を冒して港口の偵察を强行した此がために第三號砲艦は敵彈を受けて下士一名戰死し下士卒の負傷者三名を出し砲一門を損じた。

○**騎兵隊の戰鬪**　同日正午頃曲家屯で彼我騎兵隊の小戰爭があつた。

○**李家屯附近の戰爭**　同日午後〇時三十分頃李家屯（普蘭店の北約九里）附近で我騎兵隊と敵の步騎砲兵隊と衝突して二時間の戰爭の後敵を北方に擊退けた。

○**曲家屯附近の戰爭**　六月三日午後〇時三十分頃から曲家屯附近で敵の步兵約二千騎兵若干砲兵一中隊と五時半頃まで交戰して遂に之を擊退けた。

○**新開嶺附近の戰爭**　同日雙陽城の我隊は賽馬集方向偵察の爲に一小部隊を派遣したところ、午後二時頃に此隊は新開嶺の西て敵騎五六百と出逢うて大に之に損害を加へた。我には僅に戰死一名輕傷三名のみてあつた。

○**敵艦の沈沒**　同四日午後七時四十分頃我第五驅逐隊が東方から旅順口港外を監視してゐる時にギリヤーク（新式裝甲砲艦）らしき敵艦が一つ城頭山の前面で爆裂沈沒した。多分我水雷にかゝつたものであらう。

○**旅順口外の强行偵察**　同六日午前〇時頃我砲艦四隻は再び旅順口外の强行偵察を行うた。爲に第四號砲艦は敵彈八個を受け卒一名戰死し二名微傷を負うた。

○**大連灣の水雷發見**　同灣に於ける掃海隊は同七日に十一個と、同八日に十個ほど敵方の機械水雷を發見し孰れも爆沈さした。これて掃海隊の作業を始めて以來八日迄に敵の機械水雷を無效にした數は丁度六十二てある。

○**旅順口の强行偵察**　同七日夜から八日の晩にかけて艦艇水雷艇八隻て更に旅順口の强行偵察を行ふた。爲に入艦艇水雷艇に下士卒各一名の戰死者を生した。

○**賽馬集の占領**　同七日黑木大將配下の一部隊は賽馬集附近の敵を四方砬方向に擊退けて遂に同地を占領した。

○**蓋州附近の威嚇砲擊**　分遣艦隊は旅順口背面沿岸の封鎖中同七日一部を北上せしめて蓋州附近沿岸の威嚇砲擊を行うた。

○**岫巖占領**　同八日午後我陸軍の一部隊は大虎嶺附近で敵軍を擊破し同九時二十分大孤山上陸軍の一部隊と協同して岫巖を占領した。

○**大連灣の掃海**　掃海隊は同八九兩日間に敵の機械水雷十六箇を發見破壞した。

○**第四及第二驅逐隊**　第四驅逐隊は同十日午前十一時から約二時間營城子雙臺溝附近の敵兵を砲擊した。又當時大連灣附近を巡邏した第二驅逐隊は正午頃小平島附近まで出て來た敵の驅逐艦四隻を發見して之を群生角まで追擊したが敵は急に背進して旅順口に入つた。

○**臺北丸沈設中の水雷爆發**　聯合艦隊附屬の水雷敷設隊臺北丸は同十三日夜敵前に於て機械水雷沈設中水雷一箇俄然爆發して海軍少佐眞崎安一氏以下十九名の戰死者並に海軍中佐小田喜代藏氏以下九名の負傷者を出した。

## 雜報

○**女子高等師範學校**　同校にては今回新に數學物理化學專修科を設け、私費生徒廿六名を募集す。同科の學科は倫理、教育、外國語、數學、物理、化學、地質鑛物、體操の八科にして、修業年限は三箇年なり。入學志願者の資格は年齡十七年以上三十年未滿（本年九月一日調にて）の、夫を有せざる婦人にして、修業年限四箇年の官公立高等女學校卒業生及び之と同等の學力あるものと定められ其試驗科目は體格 國語（講讀作文） 數學（算術、幾何學初步）理科（植物、動物、生理、物理、化學） なり。尙入學試驗は同校に於て施行する筈なり。

○**日本女子大學校**　同校の卒業生を以て組織せる、櫻楓會の事業を聞くに、實業部は六部に分かる（一）雜貨部は文房具化粧品其他日用の雜貨を供給し出來得る限り一切の用を辨ずるものにして日々校內生徒昇降口に開店せり（二）書籍部は教科書を始め適當の書册雜誌を紹介し供給するものにして前同所に開けり（三）牧畜部は牛豚山羊雞蜜蜂其他魚類等を飼養し之より得る乳汁肉卵蜜等を校內及び寮舍に供給し一方には動物學其他學理の實驗に資する計畫なれども先づ着手せるは養雞なり 豐明寮の東側に大小數百の雞は四人の學生の監督の下に育ちつゝあり 養蜂も近日着手の運びに至るべし（四）園藝部は一方に野菜草物花卉其他の植物を培養して、校內及び寮舍に食料品並に裝飾用の生花を供給すると同時に一方には標本を製造して植物學の參考に供し又實地の觀察によりて自然に對する趣味を養ふの一助たらしめ且つ之を以て園藝學を實習するにあり（五）製菓部は料理法を研究して衞生上適當の食品たるべき菓子を作りて校內及び寮舍の需要に應じ且つ本校に於ける料理研究の一助たらしめんとするものにして已にサンドキッチなどを製して教員生徒の用に充て居れり（六）銀行部は生徒の貯金並に前記の各部より得る收入を預りて更に之を確實なる銀行に預け又各部の資金の融通を計るものなり此部よりは小切手を出し實業部に於る實質には總て之を用ゐて一切の現金を使用せず以て盜難を防ぎ貯蓄心を養ひ又銀行の性質を知り手形の使用に慣れしむるなり、開部以來各部いづれも每日時間を定めて校內にて飼養し培養し製造し販賣し各部一人宛の主任を置き一切の責任を負はしめ所屬の人員は各部とも五人以下にして各自交代各々其務むる所の課業に出席せりいづれも經驗なき事にしあれば初の數週は萬事不整頓にして敏活を缺き不都合の點も尠からざりしが漸次練磨の功を積みて稍面目も整ふに至りたり而して當時園藝牧畜兩部の如きは收入と稱すべき程のものなく唯資本を要するのみなれども三ヶ年の後には十分成功を見るを得る見込なり家庭週報と云ふ週刊新聞を來る廿五日より發行するよし

○**大日本女子教育會**　同會にては夏期講習會員の爲に一の寄宿舍を借受け尙沼津近傍に會員海水浴の便を計り同會宿舍を設くる計畫もあるよしなるが事業發展の方法として每月公開演說會を開き去る十九日にも帝國教育會に於て元良文學博士の「心理上錯覺と美感との關係」及吉田靜致氏の「女子と獨立心」の講演ありたり

○**婦人讀書會**　去にし七日午後二時半より麴町區ミスウエストン氏邸に於て同會總會の開催あり。同日役員方始め學事に熱心なる內外婦人の多數と、尾崎行雄・德富猪一郞・櫻井錠二等諸名士ありて、先づ會長大山侯爵夫人の挨拶、次に下田女史の演說、次にウエストン女史の演說（長谷川喜多子女史の通譯にて）最後に尾崎氏の演說ありたり。

○**軍人遺兒遺族保護會**　日本體育會體操學校女子部卒業生諸子と、葡萄牙公使、白耳義公使、伊東子爵、佐藤博士、辰巳博士、桑、ミーラ、大宮、井田、宮田、松本、高平各夫人及び寮悅孝子、ペルツ博士、宮田修、吉川正毅の諸氏は成女學校、東京慈惠醫院看護婦、女子職業學校、女子美術學校、女子商業學校、親書學館各有志團體の贊助を得て今度軍人遺兒遺族救護會なるものを設置したり其概則左の如し

第一條　本會は軍人遺兒遺族保護會と稱し事務所を麴町成女學校內に置く

第二條　本會は有志相謀り今回の時局に關し出征及び應召軍人の遺兒を養成し且つ事實上遺族なるも出征前幷に入籍の手續を結了し得ざりし者を慰問し且つ其病者を收容治療するを以て目的とす

第三條　病者の收容治療は事變の終局までとし孤兒育成は永久持續するものとす

第四條　孤兒は一般普通教育を授けたる後相當の業務に就かしむるものとす

第五條　本會の目的を達せんため有志又は團體より寄附金を以て之が資途に充つ

第六條　本會に慰問者幷に醫師看護婦保育者若干名を置く

第七條　本會の情況及び計算は春秋二期を以て報告す

第八條　本會の事業即ち治療方法及び兒童教育幷に重要事項を議定せんため評議員若干名を置き時々評議會を開く

第九條　本會には理事若干名を置き會計庶務を囑託す

第十條　本會は寄附金二萬圓に達すれば相當の場所を選み兒童を收容すべき家屋を建築し同時に社團法人に變更すべし

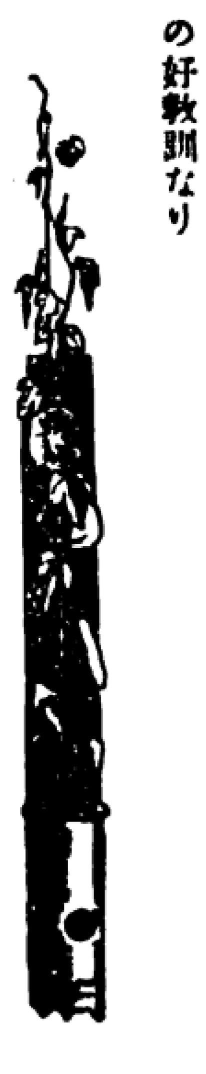
○**東洋婦人會**　兼て噂ありし同會の發會式は時節柄につき延期する事に決し來る廿五日華族會館にて會員間の懇親會を開くよし。

○**英國婦人の戰地慰問**　赤十字社の篤志看護婦人會にても多數の貴婦人日々作業に從事せらるゝも廣島其他戰地に向ひ實て看護に從事せんとする婦人は殆んと皆無の有樣なるよしにて戰地に於ける病兵等を見舞ふ貴婦人だもなき有樣なるに引替へ米國よりは曩にマギー女史一行來つて看護に從事せられ又英國皇后陛下の深き思召を體し戰地に在る我が忠勇なる傷病者を親しく慰問せんとて渺たる巾幗の身を以て波濤遙かに本邦に渡來し赤十字社病院船博愛丸にて戰地に向ひしマッコール孃、センホルヒ孃、印度國王侍從ドクトル、マイラマル氏、の消息を聞くに鴨綠江を溯り龍巖浦に出て安東縣に上陸し兵站病院及本院義州病院等を巡視せられ其の同情ある慰問に對し患者は少なからず滿足を得恰も天使の恩光を垂れられたる思ひを爲せしと云ふ

○**敵營中の婦人**　哈爾賓兵站の過多數の武辨相聚りて視線を彼方の一方に注げるあり瞰視すれば即ち容姿端麗なる一少女の馬に騎して兵站の一隅に佇立せるあり據れば身に輕裝を被り脚に深き革靴を穿てり偶まノーウオ、ムレミヤの通信員其前を過ぎて心に神屯中の女丈夫を想起し就て其經歷を聽くに少女名をアントニーナ、ペトローワと呼び芳紀正に十九幼にして孤となり零丁刻苦以て今日に至る曩きに日露砲火を交ふるを聽くや挺身功を極東の原野に建てんと欲し乃ち鄕を出て、行を第三十六狙擊隊の第三大隊と共にす、而して一行の貝加爾湖畔に達するや軍紀の命ずる所遂に本隊と離れざるべからざるに至り已むなく單身湖上を徒步す飛雪は紛々として其面を撲ち寒威凛烈膚を冒すも屈せず無事哈爾賓に着せり而も軍紀は更らに少女の東進を許さず茲に於て翻然素志を飜し身を看護婦の班に列し以て幾分奉公の務を盡すに決す斯くて倘據れば幾多の困難を排しつゝ首尾能く職を野戰病院に得不日任地に赴かんとするものなりとぞ

○**ラッド博士の義擧**　米國エール大學の心理學部長ジョージ、エル、ラッド博士は五月一日日本陸海軍人遺族救助のため義捐金募集の事に關し勸誘演說を爲して彼理紀念救助金の募集には在東京日本人が巨額の義捐を爲したる事實を擧げ且今回の募集は日本人が巨額の費用を投じて彼理紀念碑を建設したる義擧に對し幾分の報酬たることを得べしと說けり

○**印度貴婦人の同情**　日露開戰以來歐米の貴婦人にして我陸海軍人に同情を寄せらるゝもの、非常に多く隨て本邦人をして感激せしむることとなるが此れは亦亞細亞の古國印度カルカッタの貴婦人四名か而かも匿名にて黃金製の腕輪頸飾外二點を同市の王族タゴール氏を介して其賣却代金を我陸海軍恤兵の軍用に加へられ度旨を遙々申込み來れるが其心事の美しきは確かに本邦貴婦人の好教訓なり





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫學士 竹中成憲 關以雄 合著

## 通俗實習 救急法

ポケット入 正價一冊金參拾錢 郵稅金貳錢

醫を招くに便利なる場所と雖ども不慮の負傷者を出すが如き急遽に臨みては瞬時を失ふべからざるを以て小學校教師、警察官等苟くも直接兒童健康の保護者たり人民保護の職責者たる人々は常に將の來る危險の間に應急處置の心得なかるべからず著者此に鑑あり最近の學說實地の觀察に基き簡單に主微を摘錄し材料の使用法より應急手當處置等實習の必功の事項を網羅して遺憾なからしめたるは本書の特色なりとす獨り學校教師、警察官のみならず苟くも家に備ふるの必要を覺らば最愛なる子女等が不時の災傷に處する爲に平素に實習會得し置くべき好範たるに於て蓋し出色一番たるを信ずし殊に誰人にも讀み易く通俗卑近に書き下しあれは幸に家毎に一本を備へられんことを

小池陸軍々醫著 中原醫學士補 鵜飼成郞編

## 戰時平時看護必携 實用繃帶學

精圖七十有餘 正價五十九錢 郵稅四錢

第四版 菊版全一冊

之は是繃帶に關する最要の書、通式、頭部の繃帶、乳房の繃帶、上肢及下肢の繃帶等を詳細丁寧に說述し得て明白。所說は正確、行文は流暢、插圖は精巧、印刷は鮮明。學生は以て演習の模範と爲す可く、實地家は以て日常及戰時の應用に供す可し。

東京市日本橋區通一丁目

合名會社 森村銀行

電話(特)本局六七三番

定期預金 六ヶ月以上 年五分二厘

當座預金 百圓に付日步 壹錢壹厘

特別當座預金 同 日步 八厘

ヴワイオレット製 壽美香おしろい

伊童 壺室 吉製

定價 大瓶二十錢 小瓶十二錢

定價 大瓶廿五錢 中瓶十五錢 小瓶十錢

西洋色白くなる流行の 壽美香あらひ粉

東兩國 伊勢吉

定價綠藍紅彩綵香ひ箱詰六錢五厘ボックス入三錢袋入壹錢

## 征露紀念磁石

概價表

十八金製 金拾五圓

純銀製 金壹圓拾錢

銅製 金參拾五錢

ニッケル製 金貳拾五錢

但シ圖案ノ儀ハ如何樣トモ御望ミニ應ジ調製可仕候各團體ニテ多數御注文ハ特別割引シ迅速出來可仕候

製造元 東京市日本橋區横山町一丁目十一番地 松田龜七

普通衞生 療病新書

醫學士馬島碓之助先生閱 關藤治郎先生著

附處方調劑 正價六十錢 郵稅四錢

發兌元 東京神田鍛冶町(電話本九四九) 誠之堂(賣捌各地書店に有)

關藤治郎編

## 普通臨床 看病法

正價金卅錢 郵稅四錢

「書中目次」(精圖數十入)看護婦の資務◉病室◉冷溶法◉病摩◉吸入法◉(巴布)作り方及應用◉外用藥用法◉芥子泥◉飲食物の與へ法●食物調理◉服藥の與へ法◉老人小兒藥量藥品秤量及びめると◉る尺比較◉皮下注射法◉體溫計測法◉脈搏を計る法や呼吸を計る法◉灌腸施行法◉壓藥使用法◉尿に就て必要なる事柄◉腟洗滌法◉發泡膏應用◉脚湯法◉人工浴一覽表◉腰湯法(坐浴)◉吸角法◉水蛭使用法◉出血及其血止法◉火傷及其手當法◉凍傷及其手當法◉中毒及其手當法◉繃帶及使用法◉按摩法◉外科看護法◉婦人科看護法◉產科着護法◉乳母の選擇及乳兒の攝生◉病態の觀察方法◉傳染病及取扱方法◉傳染病消毒法◉傳染病看護婦の注意◉熱性諸病看護法◉肺結核、痲疹、回歸室扶斯開歇熱、肺炎、肋膜炎、腹膜炎、盲腸炎、腦膜炎、癲痢、貧血、武甯篤氏病、(腎臟炎)耳下腺炎、破傷風(てたぬす)强直症、鵝口瘡、百日咳、喘息、咯血、精神病、看護法●電氣使用法●夜中看護法●死體取扱方法●食用品分析表及び消化時間●水の試驗法●牛乳試驗法牛乳及び人乳分析●溫度表

麝香獸印 ムスク香水

本石町四 芳香藥種問屋 松澤商店

神田區表神保町一

電話本局二八五三番

東京日本橋區長谷川町

卸部 美濃磯本店

電話浪花二八五九番

本郷區本郷五丁目

小賣部 美濃磯本郷支店

電話下谷一四二五番

淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店

日本橋區佐內町 美濃磯佐內町支店

芝區新櫻田町 小田商店

牛込區神樂町二丁目 伊澤商店

四谷區傳馬町二丁目 伊澤支店

院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診察

副院長 醫學士 久保德太郎 每日夕刻診察

## 婦人科產科榊病院

東京麴町三番町卅三(電話番町三九五)

## 產婆學新學期

通學生募集

東京日本橋區濱町三丁目七

科婦人科 楠田病院

## ●水原產科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

○靜養室と病室を區別し○電氣療法○電氣浴○震搖マッサーヂ裝置○○院長每日診察

院長醫學士 田代謹二

相州鎌倉 電話十四番

## 鎌倉養生院

◎最新良法◎◎◎

るゐれき 切開を要せずして根治す

●心臟病 ●脚氣 專門

神田區三崎町三の一 四通り二十五

## 千葉內院

看護婦の需に應ず

## 東京看護婦協會

神田區錦町參、貳、(電本三三一四)

## ●產科婦人科專門

下谷練塀町卅二(電話下谷二四一二番)

醫學士 綾部利三郎

登錄商標 高木

官許 懷中妙藥 清心丹

本舗 東京元大坂町八番地 高木與兵衛

本劑は近頃同名又は類似の藥各地に夥多相見へ候に付人魚の商標と高木の名稱篤と御認の上御求めあらんとを乞ふ



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

西川商舖牛豚肉販賣　謹告

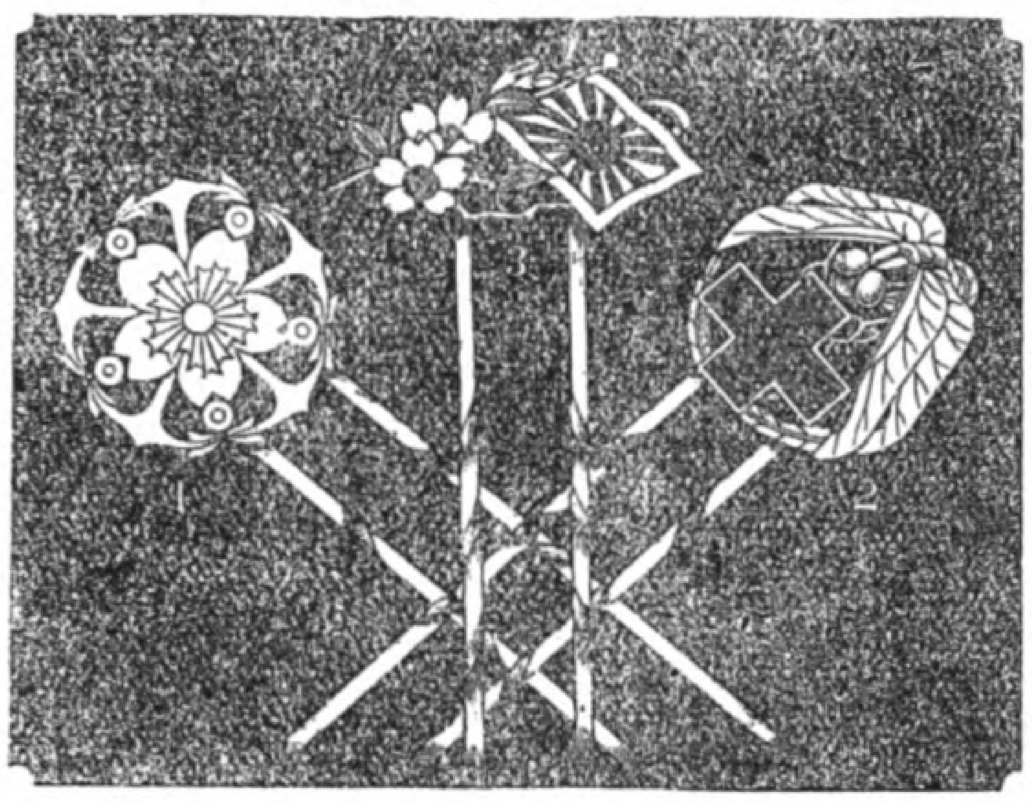
品質佳良無比類　價廉我店所最勉
配達迅速而正確　夏季殊勉其防腐
普通配達日三回　市內何處不厭遠
若有臨時急用事　走自轉車而直辦
地方配達有便法　特勉西洋料理用
請試購而評其味

價格左ニ

| 牛肉百匁 | 円 |
|---|---|
| ヒレー | 50 |
| ロース | 45 |
| ラン | 38 |
| ステキ | 38 |
| イチホン | 38 |
| ヒキ肉 | 30 |
| ブリスケ | 22 |
| ハラスープ | 16 |
| スネスープ | 20 |
| 尾 | 15 |
| ケンネン | 05 |
| 舌 | 42 |
| ケンネン油 | 14 |
| ヘット | 16 |
| **豚肉百匁** | |
| 上等 | 20 |
| 並等 | 18 |
| チヤブ | 14 |
| ヒキ肉 | 16 |
| 油 | 16 |

小石川表町廿二番地　西川本店　電話番町六五九
本郷區駒込東片町五番地　西川支店　電話下谷二二七一

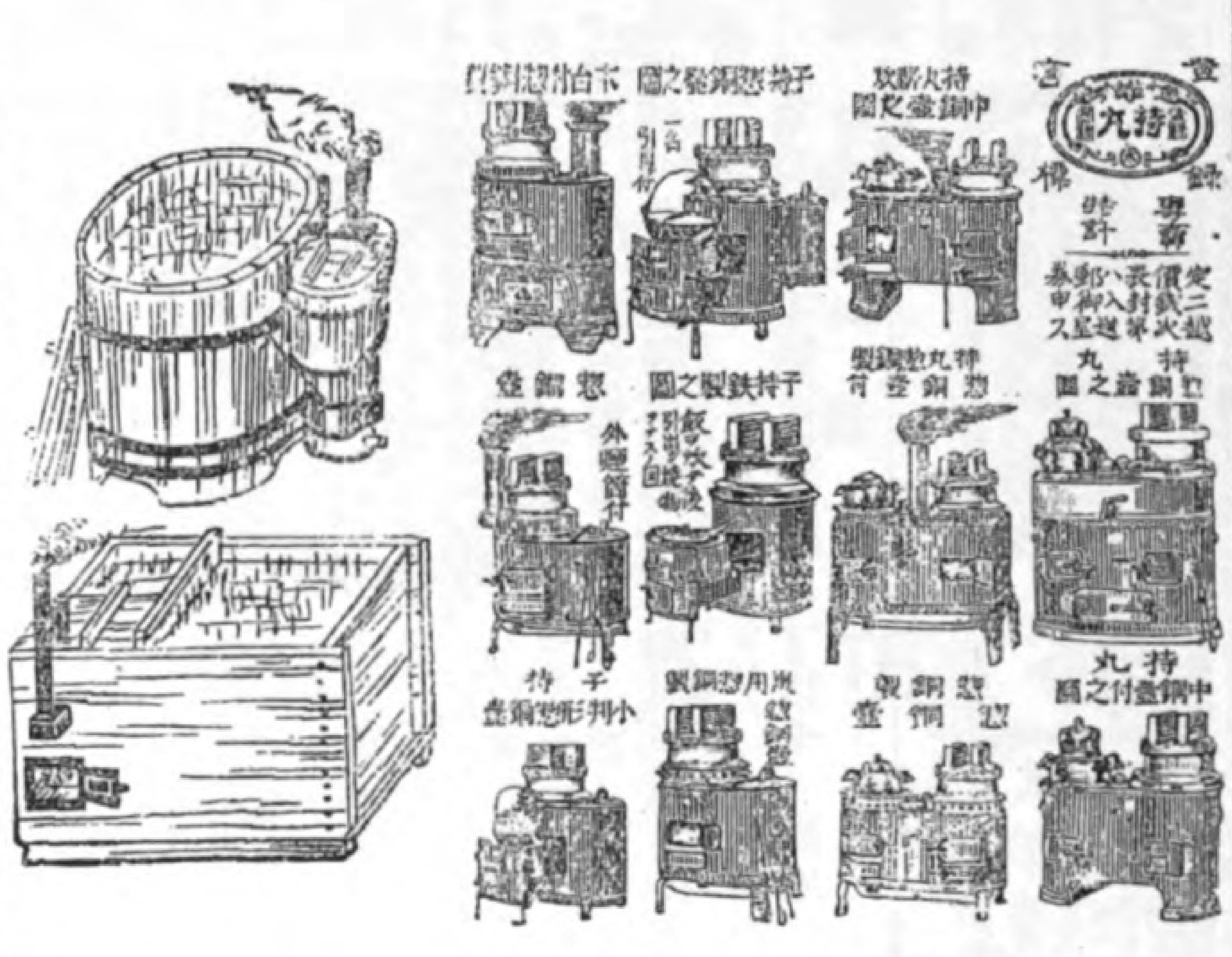
戰捷紀念簪



開戰以來向ふ所敵なき我陸海軍の大捷紀念として上圖の如き東髮ピンと前差とに兼用の簪發賣仕候
一號　陸海軍紀念
二號　赤十字紀念
三號　陸捷紀念
三種何れも純銀製に七寶にて金色と各色の七寶とを配合せしいとうるわしき品に有之候

此紀念簪は聊か戰捷の祝意を表し特別廉價にて差上候間御注文あらんことを
一二三各號　貳圓宛
市外送料金十錢

東京市京橋區尾張町　白牡丹本店　特電話新橋五五一番



製造發賣元　東京日本橋蠣殼町二ノ十五（電話浪花千百七十五）　名和商店
東京神田松永町十八　名和支店

夏半ゑり帯揚　嶄新柄特に廉價
御浴衣地　縮木綿絽縮○眞岡別織紅梅織○島縮珍柄多く
○帯片側地○夏單帯○裾模樣け出し○絞り兵兒地
○すゝめ形○ゑり治形○紀念形せげ入おろし小賣
新橋竹川町十二番地　電話新二〇二七　本店　ゑり治
神田表神保町壹番地　電話本局九五二　支店　ゑり治

無毒　クイーン白粉
艶美　クイーン水
本舖　花陽堂　日本橋區新和泉町

登錄商標　金線草丁幾
●るゐれき●肺病●結核性諸病に特効ある最新發見藥なり
（注意）説明書御入用ノ方ハはがきニテ御一報アレ進呈ス
定價一磅入金三圓（遞送金廿錢）半磅入金壹圓五十錢（遞送費十五錢）粉末一號入金壹圓（遞送費十錢）
東京神田鍛冶町卅番地　製藥本舖　東光堂
特約販賣店
藥種貿易商　東京市日本橋區伊勢町　熱田彦兵衛
藥種貿易商　仝日本橋區室町三丁目　島田武兵衛

第五回內國博覽會銀牌受領
其他內外各博覽會金銀牌受領

最上醤油

從四位淺田宗伯先生直傳　淺田飴

良藥にして口に甘し

せきに淺田飴　空腹にめし

定價　金五拾錢　金參拾錢　金貳拾錢　金拾錢

本家　東京神田鍛冶町　大阪北久寶寺町　堀內伊太郎
日本全國到る處の藥店に販賣す

衛生上欠くべからざる品

新発明　髪あらひ粉
いかなる油付きし髪でも落ること奇妙あり
製造　本舖　東京神田新石町　町榮堂

註意（女仙）印御覽の上御求被下
賣捌店は全國小間物店賣藥にあり
代理店又は特約店大賣捌き御望の方は至急御申込あれ


明治三十七年六月廿日發行（毎月五日二十日二回）
發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　大日本女學會內
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 愛國婦人第五十六號附錄

富山縣支部長
富山縣知事夫人李家貫實子

熊本縣支部幹事
山本こと子

富山縣支部幹事
長信子

明治三十七年六月二十日發行（每月五日廿日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 大日本女學會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 夏着新荷着御披露

## 洋服地并附属品一式

○帽子○令嬢用飾付
帽子○日傘○レース
カラ○シフオンエリ
巻○花瓶敷○造花○
手袋○沓下○レース
類○エンブロイダ
○其他種々着荷仕居候
○婦人洋服裁縫念入
調進仕候

東京市麴町區貳丁目七番地
八木屋號
**大國市藏**
電話番町七四二



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN